

7月10日（金）

疏水授業「龍をあむ～水をもとめて、しあわせもとめて～」

ゲストティーチャーとして、ミュージカル【龍をあむ】に出演された劇団員の方々にお越しいただき、「水を求めて しあわせを求めて」というテーマでお話をさせていただきました。疏水探検隊の最終回の学習となります。【龍をあむ】（歴史）の場面ごとの解説をききました。その中で、ミュージカルで使用された曲が流れたり、劇団員の方がセリフを挿入されたりと、疏水の歴史ミュージカルをみているようでした。最後に、全員で「I have a dream」を歌い盛り上がりました。子どもたちは、この物語の舞台が母里地区であるということ、今まで学習してきた人やものが出てくるので、とても興味をもってお話をきいていました。この学習を通して、先人の方々への感謝、今に感謝、郷土愛の高まりなど、子どもたちは色々なことを感じる事ができたと思います。また、この歴史や思いを次の世代、その次の世代へと語り継いでくれるような人になってほしいなと願っています。



【児童の感想】

- 昔の人がこんなにも苦しんでいたなんて知りませんでした。いなみ野台地が高くて水が送りにくかったことや土地の争いがあったことなど、いろいろなことが学びました。
- ぼくが一番大変だなと思ったところは何日もかけてトンネルを完成させたことです。昔の人がこれだけ頑張って水を引いてきてくれて感謝しています。
- 稲美町の歴史がよく知れて、とても面白かったです。稲美町が今よりももっと好きになりました。
- 今まで勉強してきたことがすべて繋がりました。昔の人々の苦勞がすごく伝わってきました。

○歌や劇がとても凄かったです。とくに、歌を歌いながら劇をするのが難しいだろうなと思いました。

○わたしの知っていたこと、知らなかったことがたくさんでした。「I have a dream」を最後に歌って、今でも心に残っています。